



消防研究センターにおける製品火災原因調査

1. はじめに

消防研究センターは消防本部の火災原因調査の支援を行っています。今回は、製品火災原因調査事例について紹介します。

2. 火災概要

- (1) 発生場所 岡山県倉敷市
- (2) 出火年月 平成22年10月
- (3) リ災概要 建物ほや火災
- (4) 発生状況 スタンドにセットしていたコードレス電気アイロン付近から出火したもの

3. 火災原因調査の経緯

出火原因として、通電中であったコードレス電気アイロンに何らかの異常があり出火した可能性が考えられました。消防研究センターでは、本事案について倉敷市消防局から「製品火災に係る報告について」（平成21年4月14日付消防予第154号・消防技第16号・消防特第67号）に基づく報告を受けましたが、さらに同局から原因究明のため技術支援依頼があったため連携して本件火災原因調査に臨むこととしました。

4. 調査概要

火災原因調査は、倉敷市消防局において、製造事業者等の立会いを受け実施しました（写真1）。



写真1 原因調査前の打ち合わせの状況



写真2 焼損した電気アイロンの状況



写真3 電気アイロンを分解している状況



写真4 リレー接点の状況

見分を進めると、電気アイロンのヒーターが異常過熱して本体のベース部分やスタンドが溶融した状況を示していました（写真2）。そこで、構成部品を分解するとともに、デジタルマイクロスコープ等の機器を活用して詳細に見分を行いました（写真3）。

当該アイロンの温度制御は、本体ベース部分のサーミスタで感知した温度によりリレーで電源を入切し調節するものです。このリレーを見分すると接点は離れていましたが、接点表面部分に荒れが認められました（写真4）。

出火原因として、リレー接点が一時的に溶着してヒーターへの通電が止まらない状況となり、温度過昇防止器が不具合品であったことが重なったためヒーター部が異常過熱し、出火したと推定されました。

5. 消防研究センターの技術支援について

消防研究センターは高度な分析機器と専門知識を持つ調査官により、消防本部が行う火災原因調査や危険物流出事故調査について現場調査、鑑識、鑑定等の技術支援を行っています。ご相談は原因調査室〔直通電話：0422（49）9441〕までご連絡ください。